

☆合格体験記☆

T.T さん / 東京大学理科 II 類（桜蔭高校卒） 私が受験勉強を意識し始めたのは、部活を引退した高2の9月ごろでした。今から大手予備校に通ったのでは授業についていけないのではないか、という不安があり、また姉も通っていて基礎から教えてくれると聞いていたので、入塾を決めました。

しばらくは宿題に追われる日々でした。大変ではありましたが、ノルマがないと怠けてしまいがちな私には、宿題のシステムが勉強の習慣をつけるためにもぴったりだったように思います。夏休み、学校の友達が問題集をたくさん買いこむのを見て、私も塾とは別に自分でも問題集をやろう、と意気込みましたが、予想外に塾の授業時間や教材が多く、これじゃ全然問題集が解けない...と焦っていました、でも夏休み後半に入って、塾でやっていることをしっかり頭にいれれば、何も無理をして新しい問題集をやることはない、ということに気づきました。それからは、いくら周りの人が難しい問題集を何冊も解いていても、私は一貫して塾の教材を繰り返しやることに専念するようになりました。今振り返って、塾の教材を信じてやっていけば大丈夫、と確信して周りに流されなかったことが、合格の大きな要因になったと感じています。

理路整然とした説明、体系だった解法は、今までフィーリングで解いていた私にとって、なんとなくできたりできなかつたり、といったもやもや感がさっと晴れるように感じられました。また、時に大学の知識を用いてわかりやすいように説明して下さったり、生活に密着させて記憶に残る話をして下さったり、とても鮮やかな授業でした。

まさか自分が合格できるとは、1年前の自分からはまったく想像できませんでした。この塾に出会うことが出来て本当に幸運だったと思います。

M.A さん / 京都大学教育学部（雙葉高校卒） 国立文系志望の私にとって、最大の課題は恐ろしく苦手な数学でした。学校では高2から坂を転がるようにして成績が落ち、まさに呼び出し寸前の状態でした。その時は自分の数学のできなさに啞然としましたが、何より恐ろしかったのは、これからどう勉強したらできるようになるのか、全く検討がつかなかったことです。むしろ、もう間に合わないのではないか、無理ではないかという思いが日に日に強くなり、何度も数学を捨てることを考えました。しかしここで諦めては一生後悔すると思い、高2の時、偶然見つけたこの塾で、冬期講習を受けてみることにしました。少人数制というのにも惹かれましたし、送られてきたサンプルのテキストがとてもわかりやすかったので、ここでなら何とかなるかもしれない、という一縷の希望を胸に授業に臨みました。授業もテキストも想像以上の素晴らしさでした。的確で効率的なカリキュラムが全て用意されています。こんなに数学音痴の私が、一年で何とか形になったのですから、その素晴らしさは本物です。授業を受け、宿題を必死にこなし、復習を繰り返す。決して楽ではありませんが、それだけで、受験に必要な力を最短距離で身につけることができるのです。その上先生は、ひとりひとりの学力や性格、癖までも把握し、適切な助言を下さいます。質問にも丁寧に答えて下さり、とても頼れる存在です。こうして私は日々着実に進歩を実感してきました。これまで数学への苦手意識でがんじがらめになっていた私にとって、それはかなりのカルチャーショックで、初めて本当の数学というものに触れた気さえしました。今もしこれを読んでいて、数学で困っているのなら、この塾を強くお勧めします。諦めるのはまだ早いです。どんなに苦手でも、正しいやり方で努力さえすれば実を結ぶことを教えてくださいました。あなたの目の前にある可能性を、ぜひ広げてみて下さい。

T.K くん / 筑波大学医学部（筑波大附属駒場高校卒） この塾は、これまでなんとなく勉強して

きたがいまいち成果の上がない人や、全くといっていいほど勉強とは縁の無かった人にとって、一気に挽回するのに最適だと思う。その理由として、本当に基礎的な部分から教えてくれること、勉強のペース管理をしてくれることなどが挙げられる。私自身の例を述べようと思う。まずは数学についてだが、入塾する前は、学校の試験でほどほどに点が取れるというくらいだった。学校の試験で点が取れるからといって入試にはまるで歯が立たないということは、実際に入試を終えての感想である。塾で叩き込まれた基礎・基本が最後の最後まで役に立った。化学に関しては学校で授業を受けていなかったということもあり、知識は限りなくゼロだった。入塾して初回授業に行われたテストでも零点だった。しかし、化学も数学と同様に一から教えていただき、一年後の入試では自信を持って試験に臨めた。

なぜわずか一年で入試に十分対応する学力がつけられるのだろうか。それは授業を受けてみれば明らかである。高いレベルの大学を目指す塾でありながら、極めて基礎的な部分の理解に十分な時間を費やし、その後の勉強を効率よくスムーズに行えるようなテキスト・カリキュラムがあるからだ。この徹底ぶりはおそらくどの塾・予備校にも負けないだろう。もちろん、それなりの量の宿題も課されるし、ペースもゆっくりとはいえない。しかし、やる気さえあればこなせる量であり、しっかりと授業についていけるように個別のノートチェックなどのサポートもしてくれる。基本を徹底的に教わる入塾後の2ヶ月間くらいは少し苦しいかもしれないが、それさえ乗り越えてしまえば以降は安心して勉強が進められると思う。その2ヶ月に学ぶ基礎・基本がlubricant（潤滑油）として受験までの勉強を効率良く、また見通しの良いものにしてしてくれることは間違いない。

このDMを見て少しでも思うところがあったらすぐに見学なり入塾することをお勧めします。前述のとおり、授業はまず基礎を徹底して固めることに重点が置かれているため、この部分を受講し逃してしまうと体系だった授業を受けていくうえでの効率の良さが半減してしまうと思うからだ。皆さんが、志望校に現役合格されることを期待しています。

M.S さん / 慶応大学経済学部（都立国立高校卒） 私は高校受験の時から数学に対して苦手意識を抱いていました。どう対策をたてればよいかもわからず、数学はセンスを要するものだと決め込んでいました。かといって、諦めるわけにもいきませんでした。何故なら、文系の人にとっても大学受験に数学は必要であるということを知ったからです。事実、文系でも上位の国立大ではセンターのみでなく個別試験でも課されますし、数学で受験することができる私大も沢山あります。特に、経済系の私大は数学受験枠の方が募集人数も多く、数学ができるのならば入りやすいのです、更に数学受験を選択することで、私立は併願だと考えている人にとっては地理歴史の細かい知識を憶える負担が減ります。私は数学に時間をかけることを決め、塾選びを始めました。

最初は大手予備校に通ってみたのですが、先生との距離は遠く質問もしづらく、結局なんの効果も上りませんでした。そこでこの塾に賭けることに決めました。はっきりいって、最初は怪しい塾だと思ってDMも真面目に読んでいませんでした。でも、実際通ってみると、本当に面倒見のよいとても丁寧な塾でした。先生は、現実的な回答をくださいます。数学は解けない問題を一人で解説とにらめっこしていても分るようにならず、時間の浪費になるだけですが、質問にとことん付き合ってくれるので解けないものをそのままにしておかずに済みます。

考えつくされたカリキュラム・テキスト・宿題の量の相乗効果により、私は模試の数学の成績が安定し、数学が得点源といえるまでになりました。テキストはポイントがわかりやすくまとまっていて過不足がありません。今思えば、入試直前はずっと塾のテキストを繰り返し解いていました。それぐらい質の高いテキストです。宿題ですが、部活や行事で忙

しく他の教科にも時間をとられていた私にとっては、ぎりぎりこなせる量でした。恐らくこの量が私の力を最大限に引き出せる量だったのだと思います。

この推薦文をみて少しでも興味をもった方がいたら、まず行動に移してみてください。きっと迷いが晴れると思います。受験に必要なのは、やる気と精神力に加えて、今の時代、情報を収集して良い授業を受けられる環境に自分を置くことでしょう。合格を掴んでください。

D.T くん / 東京大学文科I類（桐朋高校卒） 2月であっただろうか、例の狭い教室で三角関数の授業があった。さまざまな種類の三角関数を簡明な形に変形する問題を扱っていた。これだけなら何のへんてつもない話だが、しかし塾での授業方法の面白さにより頭の中に色濃く残っている。その授業方法とは各々の三角関数の特徴とその変形方法を結びつけさせることだった。例えば対称性のある三角関数ならまずは…として、という具合だ。もちろんテキストにそれらのことはよくまとめられてあったから、授業はテキストの内容を反復練習して定着させるためにあった。ともかく問題を解くことよりも、理解した解法をいつどのように使うかに重点を置いた点が新鮮であった。

以上のように解法を整理・体系化しその解法をどこでどう使うかを教えることが特徴だった。そして私はこの特徴をもってこの塾を勧めたい。確かに解法の整理・体系化などは自分で十分にできることである。しかし解法を整理・体系化することは大変時間がかかる上に、私は整理された解法を体で覚えることに時間を割くべきだと思うから塾を利用して効率良く数学を勉強することを推す。こと受験に関してはこういう手抜きも許されるだろう。なお体系化された解法を体得していることの有効性について書いておこう。まず定型化された問題を正確かつ短時間で解けるようになる。第2に見たことのないような問題に対しても、どのジャンルから出題されているかを見分け、自分の知っている解法を試すことで解答の糸口がつかみやすくなる。又これは白紙答案をなくし部分点を取りやすくもする。

M.D さん / 山口大学医学部（晃華高校卒） 私はこの塾で一年間受験勉強をただけで、国立大学医学部に合格しました。しかも、前期合格者58名中現役生6名の中の一人になったのです。

高2の3学期、バスケットボール部を引退し、バンドを解散した時、英語は大手の塾に週1回通っていたのですが、理数系科目はそれでは追いつかないと思い塾を探していた矢先、先輩にこの塾を紹介してもらいました。家から自転車でいける所にも惹かれ、いざ入塾してみるとその素晴らしさに驚きました。私が一番強調したいのは、私は他の人のようにガムシヤラに勉強した記憶がないという事です。宿題はボリュームもありレベルも高いのですが、順調に受験までいってしまい、私はそれをこなすだけでした。模試の時、友達が聞いたことも無い定理の名前をつぶやくのを聞いて焦った事も多々ありましたが、そんなものは出たためしはなく、結局大事なところを抑えておけば受かる事が分かりました。化学は最大の得意科目になり、入試も9割とれたと思っています。

この塾は要領よく勉強する事を指導してくれます。ぜひここで無駄なく受験勉強をしてください。自信を持って推薦させていただきます。

D.Y くん / 京都大学総合人間学部（都立国立高校卒） この塾には他の塾や予備校にはない良い点があります。まず、オリジナルのテキストとカリキュラムです。これらについては他の方々が詳しく説明されていると思うので、省略しますが、皆さんが述べるように本当にすばらしく、そして他の参考書や塾等では体験できない独特のものです。

次に雰囲気のアットホームさです。少人数制ということもあり先生は、生徒一人ひとりの

顔と名前はもちろん、学力や解き方のクセまでも把握しています。このため非常に質問がしやすく、また適切な助言も頂けます。時には授業中でさえ「〇〇くんは…だから、もっと…に注意しましょう」といった様に個人対応の指導をしてもらえるのです。また、勉強方法、模試の受け方、進路などについての相談にも気さくに乗ってくれます。ただ相談に乗ってくれるだけなら他の塾等でもありますよね。「チューター」などの名前で。しかしそれらは。人当たりはいいけれど当たり障りのないことばかり言い、この塾の先生のように生徒の受験のために遠慮なしの本音の意見をぶつけてくれることはないのです。

この塾の秀逸さは抜群の合格実績という形で現れています。他の所と比べてみましょう。中堅から大手の予備校は、合格者の大半を浪人生が占めていたり、生徒数自体が非常に大きいので、宣伝されている実績はアテになりません。この塾のように小さい他の塾も、やはり浪人生が実績を支えていたり、はじめから優秀な生徒しか集めず成績が落ちると退会させたりしています。この塾に匹敵する成果を上げているところはないといえるでしょう。これを読んでいる人は、「京大に受かったこのD.Yという奴だって、どうせ最初からできたんだろう」と思われるかもしれません。違います。我が高校から現役で東大または京大に入るのは毎年学年で10人弱なのですが、僕の高2のときの成績はクラス内で20番近くでした。高2の冬に受けた模試では数学の偏差値が40ちょうどでした。文系科目が抜群にできたか、というとその実力の程は僕が早稲田一文に落ちていることからわかります。こう列挙すると恥ずかしくなってきましたが、要するに僕は高3の1年間で、この塾のおかげで数学の力が非常に伸びた、ということです。

この塾に入らなかったら京大現役合格はありえなかった、とか、受かったのは全てこの塾のおかげ、などといった大胆な宣伝文句で推薦するつもりはありません。実際、この塾に入らず大学に受かる道はいくらでもあるでしょう。しかし僕は自信を持って皆さんに伝えたいと思います。合格というゴールにいたるまで、決して無駄な苦勞をしない、遠回りもしない最短距離を、この塾は僕に歩ませてくれました、と。

T.K くん / 慶応大学理工学部（都立八王子東高校卒） 以前、僕は大手の予備校の講習に通ったことがありました。授業を聞いてわかった気になっていただけで、全くといっていいほど進歩は見られませんでした。自分のどこが悪いかもわからずに過ごしていました。今思うと勉強のやり方に問題があったと思います。しかし勉強の仕方というのは、自分から変えるというのはとても大変なことです。現役生は時間が豊富には用意されていないので、いろいろ試しているような暇はありません。僕は塾に入って勉強自体も大変お世話になりましたが、どのように勉強していくかというのも学びました。これは後々まで役に立つと思います。

勉強の仕方がわからない、たくさん勉強をしているはずなのにいまいち点数につながらない、と悩んでいる人がいるなら一度相談に来てみてはどうでしょうか。この塾に通ってれば、わかった気になるだけということはまずありません。問題が厳選されているのできっちり予習をしている人でなければ解けないし、少人数制なので講師の目も行き届き、置いていかれることはまずないです。努力をすれば報われると思いますが、向いている方向が違っていると合格には辿りつけません。この塾はそんな誤った軌道の生徒を正しい道に導いてくれます。やる気さえあればやっつけていきます。

僕の文才がないために塾のよさがあまり伝えられませんでした。少しでも興味を抱いた方は見学にでも来てみましょう。よい意味で想像を裏切られると思います。

T.O さん / 早稲田大学理工学部（桐朋女子高校卒） この塾素晴らしい点について。まず第一にその時にしなければならぬ事を明確にしてくれる所だ。私は、中高一貫で高校受験もな

く、家で勉強するという習慣がすっかりなくなっていた。高2の秋になって、何からはじめたら良いのか全く分からなかった時に、塾に入り毎週の宿題、月例テストなどがあることで、不安になることなく机に向かうことができた。初めは宿題などきつく感じたが、今思えば毎週こつこつと問題を解きつづけることで、実力がついたのだと思う。

第二に授業は全て少人数制ということだ。適度な緊張感を持って、内容の濃い授業を受けられる。授業中に気軽に質問ができ、自分の理解できていない所をすぐに埋めることができる。

第三に塾で習う解法は、ある特定の問題に対してだけの解説ではなく、どのように方針を立てていくか、また何故そのように考えるか、どう処理していくか、ということを指導してくれるのである。更に、すぐに出てこなくてはならない基礎知識については、くり返し確認される。だから他の問題への応用がとても利く。一見多様に見える問題に取り組むとき、このような訓練をしているのとしていないのでは、大変な違いだろう。最後に、ここまで良い点を3点上げたが、これらはすべて「効率の良い勉強」という現役生にとっては一番大事なものにつながっていると私は思う。以上のような理由で、私は推薦する。

T.T くん / 一橋大学商学部（都立三鷹高校卒） 高校時代、僕は学校の定期テストですらいつも赤点寸前というすさまじい数学音痴でした。国立大学受験を決意し、数学の勉強を独学で始めてみましたが、そもそも授業についてゆけないわけですから、何をしたらいいのかもわかりませんでした。ただ、途方に暮れているといったありさまでした。このような、あまりにも絶望的な状況を前にし、やはり志望校のレベルを下げようか、いやこのままじゃセンターも突破できないからいっそ私立志望に変えようか…と悩んでいた高校2年の秋、他の大手予備校のパンフレットに混じって僕のもとに届いたのが、塾のパンフレットでした。僕はそのパンフレットにみなぎっている、あふれんばかりの自信と熱意に圧倒され、「この塾に賭けてみよう。ここでだめならあきらめよう」と決意し、入塾希望の電話を掛けました。

賭けに的中しました。思っていた以上にすばらしい塾でした。先生は非常に高度な内容をととてもわかりやすく説明してくださります。これまで学校の数学の授業が全く理解できず、寝ているしかなかった僕にとって、一種の福音でした。目からうろこが落ちるとは、まさにこのことです。また、塾で扱うテキストのすばらしさにも驚嘆しました。塾に入る以前、また入った後もいろいろな数学の参考書を見ましたが、この塾のテキストを超える内容を持つものにまだお目にかかったことがありません。テキストはテクニックを網羅しただけのものではなく、なぜそうなるのか、どのようにそれを運用するのかを順序立ててくわしく説明してくれます。ですから、このテキストに書かれていることを完全に自分のものにすることができれば、たいていの入試問題は楽々解けるようになります（実際、僕が受けた年の一橋の問題のほとんどは塾のテキストに書かれていたとおりに考えれば解ける問題でした。）。もしテキストを読んだだけじゃわからなかったことがあっても、先生方に相談すれば、わかるようになるまでとことん教えてくれます。（もちろん、テキストを読めばわかるはずのことを安易に質問したときは別ですが。）

ただし、重要なことを一つ付け加えておかななくてはなりません。これほどの質の高い授業とテキストが用意されているということは、生徒に要求されるレベルも非常に高いということです。当然、カリキュラムもハードで、いままで数学が苦手だった人、数学をサボっていた人が塾の授業についていくためには、かなりの努力が必要になります。僕も最初はものすごく辛くて、挫折しそうになりました。が、ここで逃げたら終わりだと思い、必死で課題をこなしました。その結果、僕は数学を得点源にするというレベルにまでは達しな

かったものの、苦手で手もつけられないという段階からは脱し、入試本番では6割近い問題を解くことができ、合格最低ラインは余裕で突破することができました（念のため付記しておきますが、ほとんどの生徒は数学を得意科目に変えています。僕は悪いほうの例外です。）。これは、この塾と出会わなければ起こりえなかった奇跡です。だから、理系科目が苦手な国立受験をあきらめている文系の皆さんにも、僕はこの塾を強くお勧めしたいと思います。いまの成績がどうであっても、この塾を信じてついていけば、1年後には必ず勝利と栄冠を手にすることができるでしょう。保証します。

T.K くん / 首都大学東京工学部（都立立川高校卒）僕は高校1・2年をほとんど部活一筋ですごしてきた。そのため学校の授業の予習どころか復習すらしておらず、勉強するのは定期試験の前だけという感じだった。そんな僕が高2の秋になり受験を意識するようになり、いよいよ塾選びをしようと思ったときにこの塾からのダイレクトメールを読んだ。名前も怪しげだし教室も小さい。正直最初は失敗したかと思った。しかしそれはとんだ思い違いだった。テキストは單元ごとにととてもわかりやすくまとめられているため、それまでばらばらだった知識をしっかりと整理し直すことができた。また、テキストは基本的に宿題という形で消化していき、授業では宿題範囲の入試問題を解くという方式をとっているため、入試問題に慣れることができるだけでなく、「力がついてきている」という実感が沸く。

もしかしたら宿題という言葉聞いて幼稚だと思った人がいるかも知れない。でも僕はこの宿題こそが一番いいところだと思う。量もそこそこあり、しかも毎回しっかりとチェックされるため、サボっているとすぐばれる。はっきりいって大変だがそれだけの価値はある。知らないうちに基礎力はもちろん応用力もしっかりつくため、受験本番の頃には「これだけ頑張ってきたんだから大丈夫だ」という自信が持てるだろう。

そして最後に言いたいことは、少人数制を採用しているということである。授業を受けていてわからない部分があればその場で質問できるため、大手の塾でありがちな一方通行の授業では決してない。さらに先生が授業中に指名してくるため緊張感のある授業が受けられる。

これまでの文章を読んで、どうせ塾の推薦書なんていいことしか書かされないんだろうと考えている君！嘘か本当かは自分の目で見てみなきゃわからない。ぜひ一度見学しに来てほしい。きっと君の力を伸ばしてくれる塾だと僕は自信を持って推薦する。

M.K さん / 東京大学理科I類（成蹊高校卒）受験を終えたいま、合格するためには志望校に入りたいという気持ちと効率のいい勉強方法が必要だと思いました。意志の方は自分でどうにかできますが、勉強は闇雲にやっているだけでは相当な回り道になると思います。よく言われることですが、勉強は量より質です。一年は一年で、使える時間は誰にとっても同じで、最短距離で合格するためには内容の濃い勉強が必要です。その点、現役の受験生にとってとてもありがたい塾だと思います。

私の学校は中高一貫校だったので、私は高二まで学校以外の勉強をしたことがありませんでした。また、文化祭実行委員長をうっかり引き受けてしまったので、高校二年の秋までは本格的に塾に通う余裕もありませんでした。そんなこんな状態で受験について若干不安になっていたところ、この塾の卒業生だった姉に、理系科目なら絶対ここがいいと強く勧められて、文化祭準備の合間を縫って試しに夏期講習を受けてみました。テキストを見て授業を受けて、その素晴らしさを実感しました。

数学のテキストには丁寧に解説と大事なテクニックが書かれていて、そこを理解したうえで用意された演習問題をこなせば確実に力になります。物理と化学のテキストには重要な

ポイントが絞って書いてあるので、直前期はテキストを読みながら授業でやったことを思い出し、ノートで確認していました。

授業は、完全に少人数制の形を取っていて、わからないところはその場で質問して解決する事ができたので、もやもやしなながら家に帰るということは一度もありませんでした。緊張感のある授業の中で、自分の苦手な箇所を確認したり、自分のやり方には何が足りないのかを実感できました。

また、私は元来めんどくさがりやなので、宿題を出してもらえるのはとてもありがたかったです。宿題の量は少なくはなかったのですが、学校の勉強と両立するのが難しいときもありましたが、塾の勉強は本質的なものなので、宿題をこなしていけば学校の勉強においてもプラスになると感じました。

とりあえず私の拙い文章を読んでもいいまいちよくわからないと思うので、一度足を運んでみてください。大変なこともあります、とにかく最高の塾です。

M.H さん / 東京大学文科II類（フェリス女学院高校卒） 私は、高1のときから東大に行きたいと思っていましたが、残念ながら数学が大変苦手でした。そもそも数学は科目内容の全体像がつかめないうように感じられ、嫌っていました。折角ある分野を消化しても、次の分野に進むと前の分野とどう関連しているのかが途端に見えなくなるように思えたのです。当然、普段からなるべく数学に触れないよう極力気をつけて生活していた私は、勉強も試験のための当座しのぎ程度にしか行わず、学年が上がるにつれて苦手意識も高まってきました。また、応用問題を見ると、どうせ数学的センスが必要なのだろう、文系の自分が出来ないのは無理もないことだ、と半ば諦めるようになっていました。それでもやはり東大に行きたかったのですが、私の数学力を得意とはいわないまでも少なくとも苦手でないレベルまで引き上げてくれる塾を探し始めました。大手で自分に合わせて細かく指導してくれる塾はないだろうし、個別指導では、生活習慣さえ不規則な自分では安定した勉強のペースなど作れないだろうと思ったので、一斉授業の形式をとりつつも少人数できめ細かく指導してくれる塾を探しました。そんな折、高2の春に、近所の東大生からこの塾を紹介されました。聞けば数学を少人数で一から体系的に指導してくれるとのこと。早速通い始めました。

入ってからまず驚いたのは、自分が何年もかけて勉強してきた膨大な量の数学が、たった8冊のテキストにまとめられていたことでした。やるべき量にも終わりがあるのだと思うと、俄然やる気が沸いてきました。そして指導が素晴らしいことを実感しました。今まで頭の中で散乱していた数学の断片的知識が、予習をして授業を受けることにより有機的に結びついていくのが感じられました。高2の冬前からは他の科目でも受験勉強が本格化し、塾の予習をこなすのはきつくなりました。正直、毎週やっとなさ感じでしたが、なんとか食らいついていった結果、無事現役合格することが出来ました。

受験数学全体の勉強に関していうと、私は結局最後まで塾以外の数学の問題を解きませんでした。直前期はひたすら塾の復習をしていましたが、それで十分入試に対応できました。授業には基本だけでなく、応用まで含まれています。授業内容だけで足りないのではないかと心配は無用です。安心して解きこみましょう。また、これから皆さんのなかには、「この時期にこんな基本をやっている間に合うのかな」と不安に思う方がいるかもしれませんが、大丈夫です。私は、成功者を多々輩出してきた完成されたプログラムなのだから大丈夫だと思って勉強していました。実際平気でした。はっきり言って、得意のはずの国語よりできていました。

最後に、とにかく諦めないことが肝要です。特に文系の方は、数学が出来ないことで志望

を下げてしまったり変えてしまったりするのは大変に勿体無いです。優れた指導のもとで勉強すれば、自分の希望は叶えられます。皆さんも最高の授業で、是非第一志望の大学に行ってください。

Y.S くん / 東京大学理科 II 類（筑波大学附属駒場高校卒） 僕がこの塾を選んだ理由に「家から近い」というものがあった。でも近所には他にいくらでも大手などの塾があるわけで、まさかそれだけの理由でこの小さな塾を選べるはずもない。ちょっとこの場を借りて僕が塾を選んだ経緯を描こうと思う。

高2の終わり、僕は別の塾に通っていたが効果はさっぱり上がっていなかった。成績はどんどん下がっていたし、何かが身に付いたという気もしなかった。理由は単純、自分で勉強できなかったからだ。どんなに立派な授業を受けても習ったことを実践しなければ身に付かない。当たり前なことなのだけど、気づくのに1年を費やして、なお自分で勉強できるようにはならなかった。

自分で出来ないのなら他人に頼るしかない。そう思って僕は強制力ある宿題を出してくれる塾に替えようとそれとなく探していた。でも、大手にそんなところはなかったし、とある有名なところは詰め込み式との評判だったので通う気にはなれなかった。塾から茶封筒が届いたのはそんなときのことだった。それには授業用テキストから抜粋したものが入っていた。

とりあえず宿題は出してくれるらしい。これは大きなポイントだった。しかし、それと同じぐらい塾の理念、そしてテキストは素晴らしいと思った。理念は、それまで感じていた悩み「試験のためだけに勉強する意味があるのか？」ということを解決してくれそうだった。「見たことのない問題にも対処できるように」というのは入試以後も役に立ちうるものなのではないかと期待したのだ。テキストは理念に違わず、面白く、かつ分かり易かった。

塾を替えなければ、変わらない。かくして、僕は見学もせず、短期講習を受けることもなく通うことに決めた。そして、結果は期待以上のものだった、とだけしておく。

そして蛇足を。テキストや授業は多くの人が褒め称えていると思う。けれど重要なのはテキストや授業そのものではない。初めに見て素晴らしいと思ったテキストの内容を僕は次の日には忘れていた。大事なのは実践して身につけることである。テキストも、授業も、宿題も、全てはそのためにあり、この塾はそのための最高の環境である。僕は塾に来て「実践して身につける」ということが自ら出来るようになった気がする。それはもしかしたら、大学合格よりも大事なことかもしれない。

最後に、この冊子を読んで少しでも思うところがあったなら、見学なり講習の受講なりすることをお薦めする。もし雰囲気合うのなら、最高の塾になるはずだ。